

入 試 要 項

- 一般選抜(対面入試)
- 一般選抜(オンライン入試)
- 一般選抜(編入学・対面入試)
- 一般選抜(編入学・オンライン入試)

桐朋学園大学音楽学部

2022



桐朋学園大学一般選抜では「対面入試」と「オンライン入試」を実施します。

目 次

「一般選抜（対面入試）」（1年次入学）	P. 3
「一般選抜（オンライン入試）」（1年次入学）	P. 7
「一般選抜（編入学・対面入試）」（3年次入学）	P. 8
「一般選抜（編入学・オンライン入試）」（3年次入学）	P. 9
出願書類記入上の諸注意（全試験共通）	P. 10
練習室の貸出について（「一般選抜（対面入試）」・「一般選抜（編入学・対面入試）」）	P. 11
受験上の注意（「一般選抜（対面入試）」・「一般選抜（編入学・対面入試）」）	P. 12
試験日程表	P. 13
入学試験科目・課題	
「一般選抜（対面入試）」	P. 14
「一般選抜（オンライン入試）」	P. 22
「一般選抜（編入学・対面入試）」	P. 27
「一般選抜（編入学・オンライン入試）」	P. 29
オンライン入試 受験上の注意	P. 33
合格発表、入学手続、入学金・授業料等	P. 34
特待生制度および奨学金制度・学生会館	P. 35
京王線沿線の主な宿泊施設	P. 37
交通機関案内図	P. 38

<ホームページからダウンロードする書類等>

- ・ 志願票・受験曲目票
- ・ 受験証
- ・ 桐朋学園音楽部門奨学金申請書
- ・ 桐朋学園音楽部門学生会館入居願
- ・ 伴奏譜提出票
- ・ 出願書類送付先票（貼付用）
- ・ 同意書（オンライン入試のみ）

<用意するもの>

- ・ レターパック（ダウンロードした出願書類送付先票を、宛先欄に貼付する。）
- ・ 一般選抜用受験証返送用封筒
（長3サイズの封筒に384円分の切手を貼付し出願書類に同封する。）
※志願者本人が受け取る住所を記入し、志願者名を「様」書きにて記入、封筒右下に「専攻」を記入すること。
- ・ 写真2枚（正面上半身脱帽、背景のないもの、3カ月以内に撮影したもの、タテ4cm×ヨコ3cm、写真裏面に氏名を書くこと。）

<出願時の注意> ※必ずお読みください。

新型コロナウイルス感染症の予防および拡大防止において、政府見解や社会情勢を考慮し、今後、記載事項に関して変更させていただく可能性があります。変更が生じた場合、本学ホームページにより周知いたします。出願前や受験前にはご確認ください。

いずれの選抜も出願には、以下の①②③の手続きが必要となります。

- ① WEB出願申請
- ② 入学検定料支払
- ③ レターパックでの出願書類提出

桐朋学園大学 アドミッション・ポリシー

- ・ 音楽表現に対する能力や意欲を有し、自己の目標を持っている者
- ・ 音楽文化に関する知識と技量を習得し、社会の発展に貢献する意思のある者
- ・ 音楽文化の領域を学ぶために必要な理解力・構想力を持っている者

感性豊かで創造力のある音楽家を育成し、国内はもとより国際的にも活躍する人材の輩出を目指していることから、本学では入学試験での各専攻における演奏実技試験において、「技術の到達度」に加えて、「表現力」、「感性」、「個性」等を基軸にしながら選抜している。また、演奏の能力に加えて音楽的基礎知識及び一般的な教養も重要と考え、これらを総合的に判断できる入学試験を行っている。

本学で取得できる学位 学士（音楽）

本学で取得できる資格 高等学校教諭一種免許状及び中学校教諭一種免許状

楽器略語・コード表

専 攻		楽器略語	コード	
ピ ア ノ		P f	0 1	
弦 楽 器	ヴァイオリン	V l	1 1	
	ヴィオラ	V a	1 2	
	チェロ	V c	1 3	
	コントラバス	C b	1 4	
管 楽 器	木 管	フルート	F l	2 1
		オーボエ	O b	2 2
		クラリネット	C l	2 3
		ファゴット	F g	2 4
		サクソフォン	S x	2 5
	金 管	トランペット	T p	3 1
		テノール・トロンボーン	T T	3 2
		バス・トロンボーン	B T	3 3
		ユーフォニウム	E u	3 4
		チューバ	T u	3 5
ホルン	H r	3 6		
打 楽 器	パーカッション	P c	4 1	
	マリンバ	M a	4 2	
ハ ー プ		H p	5 1	
古 楽 器	リコーダー	R e	6 1	
	フラウト・トラヴェルソ	F T	6 2	
	バロック・オーボエ	B O	6 3	
	ヴィオラ・ダ・ガンバ	V G	6 4	
	チェンバロ	C e	6 5	
	バロック・ヴァイオリン	B V	6 6	
	バロック・チェロ	B C	6 7	
声 楽	女声	V f	7 1	
	男声	V m	7 2	
作 曲	創作芸術	C o	8 1	
	編作芸術	C a	9 9	
指 揮		C d	8 3	
音 楽 学		M u	9 1	

「一般選抜（対面入試）」（1年次入学）

募集人員 70名

音楽学科〔ピアノ専攻、弦楽器専攻、管楽器専攻、打楽器専攻、ハープ専攻、古楽器専攻、声楽専攻、作曲専攻、指揮専攻、音楽学専攻〕

出願資格

1. 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者および2022年3月卒業見込みの者
2. 通常の課程による12年の学校教育を修了した者および2022年3月修了見込みの者
3. 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者および2022年3月31日までにこれに該当する見込みの者
 - (ア) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者、またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
 - (イ) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
 - (ウ) 文部科学大臣の指定した者
 - (エ) 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）により文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同規則附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）により文部科学大臣の行う大学入学資格検定に合格した者を含む。）および2022年3月31日までに合格見込みの者
 - (オ) その他、相当の年齢に達し、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると本学において認められた者

選考方法

選考は試験（一般学科、専門科目及び専攻実技）による。（P. 14参照）

試験会場

本学〔仙川キャンパス・調布キャンパス〕（P. 38参照、詳細は受験証返送時に通知する。）

入学検定料

以下の入学検定料で対面入試とオンライン入試の両方を受験できる。なお、対面入試とオンライン入試を併願した志願者が対面入試で合格した場合はオンライン入試の合否判定は行わない。

1. 55,000円
2. 77,000円（第2志望も出願する場合）

出願期間・方法

①WEB出願申請期限	2022年1月5日（水）9時00分～1月17日（月）23時59分
②入学検定料納入期限	2022年1月5日（水）9時00分～1月17日（月）23時59分
③出願書類郵送期限	2022年1月5日（水）～1月17日（月）郵送必着
④オンライン入試 演奏動画送信期間	2022年1月28日（金）0時00分～2月3日（木）23時59分

※WEB出願の受付完了メールを受信できるよう事前に@tohomusic.ac.jpのドメイン解除設定を行うこと。

※上記期限までに次ページの①WEB出願申請「WEB志願票」を入力送信、②入学検定料を納入する。あわせて、後掲P. 5の③出願書類をレターパックにて郵送する。

※出願書類がレターパックに入らないサイズの場合は、簡易書留郵便での郵送も可とする。

※④はオンライン入試を受験する場合のみ該当。

インターネットでのWEBによる出願申請だけでは出願完了とならない。必ず、納入期限までに入学検定料を納入し、出願書類郵送期限までに書類を送付すること。出願書類郵送期限までに本校に到着した時点で出願完了となる。④オンライン入試を希望する場合は、期間内に動画・課題等を送信、送付を完了した時点で出願完了となる。

出願手続

1. WEB出願申請受付の流れ ※出願期限については、P.3を参照。

STEP 1

以下のURLより「WEB出願申請」を行う。(10月1日から公開)

<2022年度 桐朋学園大学 一般選抜および編入試験 WEB出願申請準備>

URL : <https://www.secure-cloud.jp/sf/1603091778nUTKUbZn>

→ 受付完了メール受信



※WEB出願の受付完了メールを受信できるよう事前に@tohomusic.ac.jpのドメイン解除設定を行うこと。

※受付完了メールは利用する携帯キャリアにより迷惑メールに振り分けられる場合があるので確認すること。

STEP 2

上掲STEP 1 申請受付の完了メールに記載された「ホームページURL」の「出願書類」を確認(10月1日から公開)

→ 必要書類をダウンロード、印刷し記入 → レターパックにて郵送

STEP 3

上掲STEP 1 申請受付の完了メールに記載された「ホームページURL」の

「WEBフォーム」より「WEB志願票」を入力・送信 → 受付完了メール受信

STEP 4

入学検定料納入方法(P.5参照)により、出願期間内に振り込み手続きを行う。

→ 対面入試の出願が完了する。

STEP 5

1月末日までに、事務局入試係より入学試験で使用する<桐朋メールアドレスID(メールアドレス)・初期パスワード>と受験証を通知する。

「オンライン入試志願者」は前掲P.3の期日までに演奏動画や課題等(P.22参照)を提出すること。詳細は出願後に通知する。

→ 演奏動画・課題等の提出によりオンライン入試の出願が完了する。

2. 入学検定料納入方法

前ページSTEP 3のWEB志願票を入力送信後、出願期間内に振り込み手続きを行うこと。

<振込先>

- ・みずほ銀行調布支店 当座No. 9778
- ・三菱UFJ銀行仙川支店 当座No. 49612
- ・三井住友銀行国領支店 当座No. 1015159

<振込先口座名義> 学校法人桐朋学園音楽科
[ガク) トウホウガクエンオンガクカ]

<注意事項>

※納入された入学検定料は返還しない。

※振込みの際は、

振込人名義を「受験者名」とし、名前の前に「2022」と加えること。

(例：2022 トウホウ タロウ)

3. 出願書類

※出願書類は前ページSTEP2のホームページよりダウンロード、印刷し記入すること。
書類提出はレターパックにて郵送のこと。

※出願書類がレターパックに入らないサイズの場合は、簡易書留郵便での郵送も可とする。

a) 一般選抜志願票 (対面入試)・受験曲目票

記入方法については、P. 10 ~ P. 11参照。

b) 受験証 (写真貼付)

必要事項を記入し、所定の枠に合わせて写真を貼付する。その際、写真裏面に氏名を書く。(正面上半身脱帽、背景のないもの、3カ月以内に撮影したもの、タテ4cm×ヨコ3cm)

c) 調査書等 文部科学省所定様式による。(出願前3ヶ月以内に発行されたもの)

- (1) 高等学校卒業生(見込みの者)および高等専門学校3年修了者(見込みの者)は、出身学校長が作成する「調査書」(厳封したものに限る)を提出する。
- (2) 外国における12年の課程修了者(見込みの者)は、「修了(見込み)証明書」と「成績証明書」を提出する。ただし、日本と外国の双方の高等学校に在籍した者は、日本の高等学校の在学中の「調査書」または「成績証明書」も併せて提出する。
- (3) 高等学校卒業程度認定試験合格者(大学入学資格検定合格者を含む)はその「合格証明書」と「合格成績証明書」を提出する。免除科目がある場合は、その科目の「成績証明書」(履修した高等学校で発行)も併せて提出する。
- (4) その他、高等学校を卒業した者と同等の学力があると認められた者(見込みの者)は、その「修了(見込み)証明書」と、「成績証明書」または「調査書」を提出する。

d) 受験証返送用封筒

長3サイズ封筒を準備し、志願者本人が受け取る住所・宛名を記入する。封筒右下に専攻を記入し、384円分の切手を貼付する。

e) 伴奏譜 (コピー譜可)

対面入試の弦楽器、古楽器(チェンバロを除く)、声楽の各専攻志願者が提出する。ただし、無伴奏曲で受験する者を除く。各伴奏楽譜の表紙に「伴奏譜提出票」を貼付する。コピー譜の場合は、伴奏者が演奏しやすくように屏風綴りに体裁を整える等、配慮のうえ提出する。(P. 11参照)

f) 桐朋学園音楽部門学生会館入居願

入居を希望する者のみ提出する。

g) 桐朋学園音楽部門奨学金申請書

申請者は「桐朋学園音楽部門奨学金申請書」を別封筒(各自で用意)に入れ、表面に「奨学金関係書類在中」と朱書きし、出願書類に同封する。

4. 出願先・問い合わせ先

〒182-8510 東京都調布市若葉町1-4-1
桐朋学園大学音楽学部 事務局入試係
電話:03-3307-4122 (直通) メール:exam@tohomusic.ac.jp

試験日程

「試験日程表」P.13を参照。

※新型コロナウイルス感染症等「学校において予防すべき感染症」に罹患した場合、濃厚接触者として指定された場合は、すぐに事務局入試係まで連絡のこと。別日の対応について説明する。

合格発表・入学手続等

P.34を参照。

「一般選抜（オンライン入試）」（1年次入学）

2022年度一般選抜においては、対面式の通常入試とは別にオンラインによる試験を行う。専攻実技試験課題曲を自身で演奏している動画を提出、口頭試問をZoomで行うなどICTを活用して自宅等で受験できる。対面入試との併願も可能である。

募集人員 20名

音楽学科〔ピアノ専攻、弦楽器専攻、管楽器専攻、打楽器専攻、ハープ専攻、古楽器専攻、声楽専攻、作曲専攻、音楽学専攻〕

※ 指揮専攻は対面入試のみ実施。

出願資格

※一般選抜（対面入試）に同じ（P.3参照）

選考方法

選考は試験（演奏動画提出による専攻実技、小論文及び口頭試問等）による。（P.22参照）

※第2志望も出願した場合、志望順位にかかわらず、それぞれの専攻で選考を行い、第1、第2志望とも合格の場合は、第1志望の専攻について合格とし、いずれか一方に合格の場合は、当該志望を合格とする。

入学検定料

以下の入学検定料で対面入試とオンライン入試の両方を受験できる。なお、対面入試とオンライン入試を併願した志願者が対面入試で合格した場合はオンライン入試の合否判定は行わない。

1. 55,000円
2. 77,000円（第2志望も出願する場合）

出願期間・方法

「一般選抜（対面入試）」と同じ。（P.3参照）

出願手続

1. WEB出願申請受付の流れ 「一般選抜（対面入試）」と同じ（P.4参照）
2. 入学検定料納入方法 「一般選抜（対面入試）」と同じ（P.5参照）
3. 出願書類

※対面入試と併願する場合、同一の出願書類の提出は不要。

※出願書類はSTEP2のホームページよりダウンロード印刷し記入すること。（P.4参照）
書類提出はレターパックにて郵送のこと。

※出願書類がレターパックに入らないサイズの場合は、簡易書留郵便での郵送も可とする。

- a) 一般選抜志願票（オンライン入試）・受験曲目票
記入方法については、P.10～ P.11参照。
- b) 受験証（写真貼付） 「一般選抜（対面入試）」と同じ。（P.5参照）
- c) 調査書等 「一般選抜（対面入試）」と同じ。（P.5参照）
- d) 受験証返送用封筒 「一般選抜（対面入試）」と同じ。（P.5参照）
- e) 桐朋学園音楽部門学生会館入居願 「一般選抜（対面入試）」と同じ。（P.5参照）
- f) 桐朋学園音楽部門奨学金申請書 「一般選抜（対面入試）」と同じ。（P.5参照）
- g) 同意書（オンライン入試のみ）

4. 出願先・問い合わせ先

〒182-8510 東京都調布市若葉町1-4-1-1

桐朋学園大学音楽学部 事務局入試係

電話：03-3307-4122（直通）メール：exam@tohomusic.ac.jp

試験日程

「一般選抜（オンライン入試）」の「入学試験科目・課題」P.22を参照。

合格発表・入学手続等

P.34を参照。

「一般選抜（編入学・対面入試）」（3年次入学）

募集人員 若干名

音楽学科〔ピアノ専攻、弦楽器専攻、管楽器専攻、打楽器専攻、ハープ専攻、古楽器専攻、声楽専攻、作曲専攻、指揮専攻、音楽学専攻〕

出願資格

本学において修得が義務づけられている専攻にかかわる科目の2年次相当分の必修単位を他大学（短大を含む。）で修得した、以下の2項のいずれかに該当する者。

1. 大学音楽学部第2年次以上を修了した者または2022年3月修了見込みの者。
2. 短期大学音楽科卒業生または2022年3月卒業見込みの者。

注) 出願にあたっては、単位を証明する書類等〔成績証明書・単位修得（見込み）証明書〕を用意すること。

選考方法

選考は試験（一般学科、専門科目及び専攻実技）による。（P. 27参照）

試験会場

本学〔仙川キャンパス・調布キャンパス〕（P. 38参照、詳細は受験証返送時に通知する。）

入学検定料

55,000円

注) 「一般選抜（編入学・対面入試）」と「一般選抜（対面入試）」を併願する場合は、本要項のP. 3～P. 6「一般選抜（対面入試）」各項目に従い、それぞれの試験別に出願する。その際、出願書類2件を同封すること。ただし、＜専攻実技試験課題＞が「一般選抜（対面入試）」と同じ専攻は、伴奏譜は1つ提出すればよい。

なお、専攻実技試験の課題が共通する場合、その課題の実技受験は1度でよい。

※上記併願者が合格した場合、入学に際し一部の既習得単位を認定する場合がある。

出願期間・方法

「一般選抜（対面入試）」と同じ。（P. 3参照）

出願手続

1. WEB出願申請受付の流れ 「一般選抜（対面入試）」と同じ。（P. 4参照）
2. 入学検定料納入方法 「一般選抜（対面入試）」と同じ。（P. 5参照）
3. 出願書類
 - a) 一般選抜志願票（編入学・対面入試）・受験曲目票
 - b) 受験証（写真貼付）

必要事項を記入し、所定の枠に合わせて写真を貼付する。その際、写真裏面に氏名を書く。
（正面上半身脱帽、背景のないもの、3カ月以内に撮影したもの、タテ4cm×ヨコ3cm）
 - c) 成績証明書と単位修得（見込み）証明書（大学または短期大学のもの）
 - d) 受験証送付用封筒 「一般選抜（対面入試）」と同じ。（P. 5参照）
 - e) 伴奏譜（コピー譜可） 「一般選抜（対面入試）」と同じ。（P. 5参照）
 - f) 桐朋学園音楽部門学生会館入居願 「一般選抜（対面入試）」と同じ。（P. 5参照）
 - g) 桐朋学園音楽部門奨学金申請書 「一般選抜（対面入試）」と同じ。（P. 5参照）
4. 出願先・問い合わせ先
「一般選抜（対面入試）」と同じ。（P. 6参照）

試験日程

「一般選抜（対面入試）」と同じ。（P. 13参照）

合格発表・入学手続等

P. 34を参照。

「一般選抜（編入学・オンライン入試）」（3年次入学）

2022年度一般選抜においては対面式の通常入試とは別にオンラインによる試験を行う。専攻実技試験課題曲を自身で演奏している動画を提出、口頭試問をZoomで行うなどICTを活用して自宅等で受験できる。対面入試（編入学）との併願も可能である。

募集人員 若干名

音楽学科〔ピアノ専攻、弦楽器専攻、管楽器専攻、打楽器専攻、ハープ専攻、古楽器専攻、声楽専攻、作曲専攻、音楽学専攻〕

※ 指揮専攻は、対面入試のみ実施。

出願資格

本学において修得が義務づけられている専攻にかかわる科目の2年次相当分の必修単位を他大学（短大を含む。）で修得した、以下の2項のいずれかに該当する者。

1. 大学音楽学部第2年次以上を修了した者または2022年3月修了見込みの者。
2. 短期大学音楽科卒業生または2022年3月卒業見込みの者。

注）出願にあたっては、単位を証明する書類等〔成績証明書・単位修得（見込み）証明書〕を用意すること。

選考方法

選考は試験（演奏動画提出による専攻実技、小論文、口頭試問等）による。（P.29参照）

入学検定料

55,000円 ※ この入学検定料で編入学の対面入試とオンライン入試の両方が受験可能。

出願期間・方法

「一般選抜（対面入試）」と同じ。（P.3参照）

出願手続

1. WEB出願申請受付の流れ 「一般選抜（対面入試）」と同じ。（P.4参照）
2. 入学検定料納入方法 「一般選抜（対面入試）」と同じ。（P.5参照）
3. 出願書類
 - a) 一般選抜志願票（編入学・オンライン入試）・受験曲目票
 - b) 受験証（写真貼付）
必要事項を記入し、所定の枠に合わせて写真を貼付する。その際、写真裏面に氏名を書く。
（正面上半身脱帽、背景のないもの、3カ月以内に撮影したもの、タテ4cm×ヨコ3cm）
 - c) 成績証明書と単位修得（見込み）証明書（大学または短期大学のもの）
 - d) 受験証送付用封筒 「一般選抜（対面入試）」と同じ。（P.5参照）
 - e) 桐朋学園音楽部門学生会館入居願 「一般選抜（対面入試）」と同じ。（P.5参照）
 - f) 桐朋学園音楽部門奨学金申請書 「一般選抜（対面入試）」と同じ。（P.5参照）
 - g) 同意書（オンライン入試のみ）
4. 出願先・問い合わせ先
「一般選抜（対面入試）」と同じ。（P.6参照）

試験日程

「一般選抜（オンライン入試）」の「入学試験科目・課題」P.22を参照。

合格発表・入学手続等

P.34を参照。

出願書類記入上の諸注意 (全試験共通)

試験区分にあった「志願票・受験曲目票」を使用すること。

志願票の記入方法

1. 楽器略語・コード・・・志願票の「楽器略語・コード表」に従って記入する。第2志望もある場合は第2志望の「楽器略語・コード」も記入する。
2. 受付番号(※印欄)・・・記入しない。
3. 氏名・・・・・・・・・・・・・戸籍名を楷書で記入する。姓と名に分け、フリガナをふる。
4. 性別・・・・・・・・・・・・・女、男を○で囲む。
5. 生年月日・・・・・・・・・・・・・西暦で年月日を記入する。年月日の表記が1桁の場合は十の位に「0」を記入する。
6. 出願資格・・・・・・・・・・・・・該当する番号を○で囲む。卒業・卒業見込み、または修了した年を西暦で記入する。出身校の所在都道府県名および学校名を枠内に記入する。
7. 保証人・・・・・・・・・・・・・原則として保護者(第1保証人)を記入する。入学手続き書類の送付先になるので、電話番号、住所、氏名を必ず記入すること。
8. 受験期間中の居所・・・・・・・・・・・・・宿泊先の名称と電話番号を記入する。志願票提出時に決まっていない場合、また志願票提出後に変更があった場合は、決まり次第届け出る。保証人の欄と同じ場合は「同上」と記入する。
9. 音楽学専攻受験希望外国語・・・・・・・・・・・・・1カ国語を選択し、番号を○で囲む。当日の変更は不可。
10. 楽器の使用希望・・・・・・・・・・・・・自分の楽器を使用する場合は「1. なし」の数字を○で囲む。対面入試(コントラバス専攻生のみ)で本学の楽器を使用する場合は、「2. あり」の数字を○で囲む。
11. 特別練習の希望・・・・・・・・・・・・・コントラバス、小太鼓、マリンバ、ハーブ、チェンバロの志願者のうち、(特殊楽器専攻生のみ)対面入試期間中に本学での専攻楽器練習を希望する者は、「2. あり」の数字を○で囲む。希望しない場合は、「1. なし」の数字を○で囲む。
12. 身体の障がい・・・・・・・・・・・・・障がいを持つ者で、受験に際して特別の措置を希望する場合は、その障がいの区分、程度を記入する。
13. 入学後の実技担当希望教師名
・・・・・・・・・・・・・本学において決定するが、希望がある場合は、実技担当希望教師名を記入する。ただし、希望通りにならない場合がある。
14. 写真・・・・・・・・・・・・・目次のページを参照する。
15. 学生会館入居申請・・・・・・・・・・・・・入居を希望する者は申請欄に○を記入する。
16. 奨学金申請・・・・・・・・・・・・・奨学金を申請する者は申請欄に○を記入する。

受験曲目票の記入方法

1. 「楽器略語・コード」、「氏名」・・・志願票と同様に記入する。
2. 「伴奏（対面入試）」・・・伴奏がつく楽曲の場合・・・・・・・・・・あり を○で囲む。
伴奏がつかない楽曲の場合・・・・・・・・・・なし を○で囲む。
3. 演奏する曲目のうち、自由曲、任意の曲については具体的・詳細に記入する。
4. 弦楽器の課題2については、指定された曲目のうち、選択する曲目の課題番号を併せて記入する。
管楽器（クラリネットのa）、サクソフォン）は、選択した2曲の課題番号を記入する。古楽器はリコーダー、ヴィオラ・ダ・ガンバ、バロック・ヴァイオリン、バロック・チェロの選択した課題曲について記入する。
5. 第2志望がある場合は、第2志望専攻の曲目についても記入する。
6. 「副科ピアノ」は、作曲者・曲目等を具体的に記入する。
7. 出願後の受験曲目等の変更は、認めない。

伴奏譜提出票（対面入試）の記入方法

1. 「区分」・・・・・・・・『一般』または『編入』と記入する。
2. 「※受付番号」・・・何も記入しない。
3. 「伴奏譜提出票」は伴奏譜の表紙に貼り付ける。伴奏譜が複数ある場合は、各自で「伴奏譜提出票」をコピーして楽譜ごとに貼付する。
4. 声楽専攻の「任意の1曲」の伴奏譜提出票には「任意曲」と必ず記載する。

練習室の貸出について（「一般選抜（対面入試）」・「編入学試験（対面入試）」）

対面入試志願者を対象に試験期間中に無料で練習室を貸し出す。使用できる時間帯は下記のとおりとする。詳細については、出願者に交付する『受験心得』を参照。

受付日時		使用できる日にち・時間帯	
2/9 (水)	15:00 ~ 16:00	2/9 (水) 17:00 ~ 20:00	2/10 (木) 7:00 ~ 8:00
2/10 (木)	8:30 ~ 16:00	2/10 (木) 17:00 ~ 20:00	2/11 (金) 7:00 ~ 8:00
2/11 (金)	8:30 ~ 16:00	2/11 (金) 17:00 ~ 20:00	2/12 (土) 7:00 ~ 8:00
2/12 (土)	8:30 ~ 16:00	2/12 (土) 17:00 ~ 20:00	2/13 (日) 7:00 ~ 8:00
2/13 (日)	8:30 ~ 16:00	2/13 (日) 17:00 ~ 20:00	2/14 (月) 7:00 ~ 8:00
2/14 (月)	受付なし		

申込方法：受付日の当日夜間と翌日早朝の分について、それぞれ1時間単位で申し込める。

*練習室の貸出は仙川・調布の両キャンパスで行う。ただし、2/13と2/14の貸出は、仙川キャンパスのみで行う。

受験上の注意（「一般選抜（対面入試）」・「一般選抜（編入学・対面入試）」）

1. 出願者には、受験にあたっての詳細を記載した『受験心得』を受験証とともに交付する。
2. 「一般選抜（対面入試）」「一般選抜（編入学・対面入試）」志願者は、**2月9日（水）15時に学内掲示および本学ホームページで発表する指定の時刻・場所に集合する。**電話での問い合わせには応じない。対面入試伴奏合わせ集合日時はホームページで発表する。
3. 自分の演奏曲の楽譜（必要な場合）、受験証、筆記用具、昼食（試験が昼食時間に及ぶ場合）を持参する。**受験証を持たない者は試験場に入場できない。**
4. **第2志望がある場合は、特に記さない限り、各専攻実技と併せて第1・第2志望双方の専門科目を受験しなければならない。**（例えば、ピアノを第1志望・管楽器を第2志望として出願した者は、ピアノおよび管楽器の専攻実技試験を受験する。上記の場合、副科ピアノ受験は免除される。）
 ※指定された試験を受験しない場合は、第2志望を棄権したものとみなされる。
 ※出願後の志望順位の変更は認めない。
 ※副科ピアノ・理論ピアノ等の課題受験有無については下表を参照すること。

第1志望↓／第2志望→	ピアノ	弦・管・打・ハープ	古楽器 チェンバロ	古楽器 左記以外	声楽	作曲	指揮	音楽学
ピアノ							理論P	
弦・管・打・ハープ				副科P	副科P	*	理論P	副科P
古楽器（チェンバロ）						*	理論P	
古楽器（チェンバロ以外）		副科P			副科P	*	理論P	副科P
声楽		副科P		副科P		*	理論P	副科P
作曲	*	*	*	*	*		理論P	*
指揮	理論P	理論P	理論P	理論P	理論P	理論P		理論P
音楽学		副科P		副科P	副科P	*	理論P	

*印：作曲 創作芸術志願者の場合は「理論ピアノ」または「楽器等演奏」、編作芸術志願者の場合は「楽器等演奏」

5. **対面入試の伴奏者は本学で準備する。**伴奏譜は出願時に『伴奏譜提出票』（P. 11参照）を貼付して提出する。
6. 伴奏付きの楽曲は、無伴奏で演奏してはならない。（特に、指定のある場合を除く。）
7. **楽器の使用について**
 - 1) ピアノ、小太鼓、マリンバ、ハープ、チェンバロ以外は各自の楽器を持参して使用する。
 - 2) コントラバスは、本学または自分が所有する楽器のいずれを使用してもよい。
本学の楽器を使用する場合は、「出願書類記入上の諸注意」の「楽器の使用希望」に従い申し込む。
 - 3) コントラバス、小太鼓、マリンバ、ハープ、チェンバロの志願者には希望により他の志願者とは異なる方法で練習室を貸し出す。「志願票の記入方法」P. 10を参照。該当する志願者には別途連絡する。
8. **受験を取りやめる場合は、本学まで必ず連絡すること。**
9. 服装については特に指定しない。
10. **入試期間中、保護者の校内立入は禁止する。**

試験日程表（「一般選抜」・「編入学試験」）

*専攻実技試験順番・集合時刻・会場等の発表：2月9日（水）15時

・本学正面玄関に掲示発表 ・本学ホームページへ掲載（PDFファイル）

*対面入試伴奏合わせ集合日時発表：2月5日（土）15時 本学ホームページへ掲載（PDFファイル）

*新型コロナウイルス感染症等「学校において予防すべき感染症」に罹患した場合、濃厚接触者として指定された場合は、すぐに事務局入試係まで連絡のこと。別日の対応について説明する。

日程 専攻	2 / 1 0 (木)	2 / 1 1 (金)	2 / 1 2 (土)	2 / 1 3 (日)	2 / 1 4 (月)	2 / 2 1 (月)
ピ ア ノ		9:30～ 実技①	9:30～ 実技②	*各専攻共通 10:30～ 11:30 聴音試験 13:00～ 新曲視唱 試験	*各専攻共通 9:00～10:00 楽典試験 (作曲・創作芸術、 指揮専攻生を 除く) 10:30～12:00 一般学科試験 13:00～ 副科ピアノ (ピアノ、 チェンバロ 専攻生を除く)	【オンライン】 I.一般学科 口頭試問 II.専門科目 (専攻面接以外)
ヴァイオリン ヴィオラ チェロ コントラバス	伴奏合わせ	10:00～ 実技				
管 楽 器			13:00～ 実技			
打 楽 器			10:00～ 実技			
ハ ー プ			11:00～ 実技			
古 楽 器		伴奏合わせ	13:00～ 実技・ 専攻面接 【オンライン】 専攻面接			
声 楽	伴奏合わせ	13:00～ 実技				
作 曲 術 ☆ 創 作 芸 術 ◇ 編 作 芸 術	☆9:00～16:00 作曲（2） (器楽曲作曲) ◇9:00～12:00 作曲（2） (小品作曲)	☆13:00～16:00 作曲（1） (和声) ◇13:00～15:00 作曲（1） (作曲)	☆◇10:00～ 作曲理論ピアノ ☆◇13:00～ 専攻面接 【オンライン】 専攻面接			
指 揮	9:00～12:00 指揮和声 14:00～ 専攻実技 専攻面接		10:00～ 作曲理論ピアノ			
音 楽 学		10:30～ 12:00 専攻作文 (第2志望含む) 13:00～14:30 専攻外国語 (第2志望含む)	14:00～ 専攻面接 (第2志望含む) 【オンライン】 専攻面接			

(注) 斜線は専攻により試験のない日。

(注) 対面入試ピアノ専攻実技は①②の両日も受験する。

(注) 対面入試作曲専攻志願者で、作曲理論ピアノに代えてピアノ以外の楽器等による演奏で受験する場合は、併せて、それぞれの専攻実技試験日程により受験する。(P.20参照)

<試験科目>

I. 一般学科

「国語」、「英語」

1時間30分で2教科を解答する。

II. 専門科目

1. 楽典（作曲－創作芸術、指揮専攻志願者を除く）（1時間）

2. 聴音・新曲視唱

A課題（ピアノ、作曲－創作芸術、指揮専攻志願者）

B課題（上記以外の専攻志願者）

新曲視唱はA・B課題とも原則として固定ド唱法を用いるが、移動ド唱法を用いてもよい。

（課題の内容・難易度は過年度入学試験問題を参照のこと）

3. 副科ピアノ（ピアノ、チェンバロ、指揮専攻志願者を除く。）

課題は枠外下記参照。（作曲専攻志願者は P. 20も参照のこと。）

III. 専攻実技 各専攻実技試験課題については下記参照。

<副科ピアノ>

暗譜で演奏する

課題1 自由曲1曲 ソナタ・アルバム程度以上。

課題2 「課題1」と同じ調性の音階を、次の要領により演奏する。

ハノン教本 No. 39 に準じる。

テンポは ♩=60～120程度。

長調の場合は、繰り返しなしでカデンツをつける。

短調の場合は、和声短音階を1回弾いたのち、続けて旋律短音階を1回弾き、

カデンツをつける。

※「課題2」（音階）、「課題1」（自由曲）の順で演奏すること。

<専攻実技試験課題>

ピ ア ノ

課題1 Beethoven : 任意のSonate 1曲（全楽章） 繰り返しは省略するが、D.C. はすること。
ただし、次の6曲は除く。

op. 14-1, op. 14-2, op. 49-1, op. 49-2, op. 79, op. 106

演奏箇所については2月9日（水）15時に学内掲示および本学ホームページで発表する。

課題2 下記a) b) を演奏する。 ー演奏する順序は自由ー

a) Bach : Das Wohltemperierte Klavier I 巻またはII 巻から任意の1曲

b) Chopin : Etudes op. 10, op. 25から任意の2曲（ただし、op. 10-6, op. 25-7は除く）

※当日、演奏を途中でカットすることもある。

※試験は、課題1と課題2に分けて行う。

※暗譜で演奏すること。

弦 楽 器

以下の（１）と（２）を暗譜で演奏する。（コントラバスの課題は別）

a) ヴァイオリン

（１）Paganini : カプリスから任意の１曲（No. 24以外は繰り返しなし）

（２）以下のコンチェルトから任意の１曲で、第１楽章または終楽章または指定された箇所

- | | | |
|-----|-------------|------------------------------------|
| 1. | Bartók | : 第２番 |
| 2. | Brahms | : D-dur |
| 3. | Bruch | : 第１番 g-moll |
| 4. | Dvořák | : a-moll |
| 5. | Elgar | : h-moll |
| 6. | Ernst | : fis-moll op. 23 (独奏部分から第237小節まで) |
| 7. | Glazunov | : a-moll (第１部：アレグロの前まで、第２部：アレグロから) |
| 8. | Lalo | : スペイン交響曲 |
| 9. | Mendelssohn | : e-moll |
| 10. | Paganini | : 第１番 D-dur |
| 11. | Prokofiev | : 第１番 D-dur |
| 12. | Prokofiev | : 第２番 g-moll |
| 13. | Saint-Saëns | : 第３番 h-moll |
| 14. | Sibelius | : d-moll |
| 15. | Tchaikovsky | : D-dur |
| 16. | Vieuxtemps | : 第５番 a-moll (アダージョの前まで) |
| 17. | Wieniawski | : 第１番 fis-moll |
| 18. | Wieniawski | : 第２番 d-moll |

b) ヴィオラ

（１）Bach : Cello Suite から任意の楽章（繰り返しなし）

（２）以下の５曲から任意の１曲

- | | | |
|-----|-------------------------------|----------------|
| 19. | Hoffmeister in D から | 第１楽章 (カデンツ付きで) |
| 20. | Stamitz in D op. 1 から | 第１楽章 (カデンツ付きで) |
| 21. | Bartók | |
| 22. | Hindemith: Der Schwanendreher | (白鳥を焼く男) |
| 23. | Walton | |
- ※21～23は第１楽章、または最終楽章

c) チェロ

（１）Bach の無伴奏組曲 6 曲の中から任意のプレリュード

（２）以下のコンチェルトから任意の第１楽章または終楽章

- | | | |
|-----|-----------------|---|
| 24. | L. Boccherini | : B-dur |
| 25. | A. Dvořák | : h-moll |
| 26. | E. Elgar | : e-moll |
| 27. | J. Haydn | : 第１番 C-dur |
| 28. | J. Haydn | : 第２番 D-dur |
| 29. | A. Khachaturian | : e-moll |
| 30. | E. Lalo | : d-moll |
| 31. | S. Prokofiev | : 第２番 e-moll op. 125 Sinfonia Concertante |
| 32. | C. Saint-Saëns | : 第１番 a-moll op. 33 |
| 33. | R. Schumann | : a-moll |
| 34. | D. Shostakovich | : 第１番 Es-dur op. 107 |
| 35. | P. Tchaikovsky | : Rococo-Variations (主題と最終変奏を含めて10分程度にまとめる) |
| 36. | S. Barber | : op. 22 |
| 37. | D. Kabalewski | : op. 49 |
| 38. | S. Prokofiev | : op. 132 Concertino |
| 39. | W. Walton | |

d) コントラバス

次の1) または2) の中から1曲を選んで演奏すること。

1) 任意のコンチェルトの第1楽章または第3楽章 (10分以内)

2) バロックのソナタの急速楽章と緩徐楽章 (10分以内)

上記課題以外の条件で受験を希望する者は、当人の実技教師による理由書を出願時に提出すれば受験することができる。

管 楽 器

※ 伴奏不要

a) フルート

以下の曲を演奏する。暗譜で演奏するか否かは自由とする。

Andersen : 24 Studien op. 21から No. 24

b) オーボエ

以下の曲を演奏する。暗譜で演奏するか否かは自由とする。

W. Ferling : 48 ETUDES (Pierre Pierlot 版) から No. 7, 18

c) クラリネット

以下のa) またはb) のいずれかを演奏する。暗譜で演奏するか否かは自由とする。

a) C. Rose : 32 Etudes (Leduc社版) から、任意の奇数番号と偶数番号をそれぞれ1曲 (合計2曲) 選択する。

b) E. Cavallini : 30 Capricesから任意の1曲

d) ファゴット

以下の曲を演奏する。暗譜で演奏するか否かは自由とする。

Julius Weissenborn : Fifty Bassoon Studies op. 8 Vol. IIから、No. 4, 13

e) サクソフォン

以下の曲を演奏する。暗譜の必要はない。

Ferling : 48 Etudes (Leduc社版) から、任意の奇数番号と偶数番号をそれぞれ1曲 (合計2曲) 選択する。

f) トランペット

以下の曲から任意の2曲を演奏する。暗譜で演奏するか否かは自由とする。

R. W. Getchell : Practical Studies Vol. II Getchell & Hovey (Belwin Mills社版)
No. 79, 85, 90, 96, 100

C. Kopprasch : 60 Etudes for Trumpet (版は指定しない) No. 8, 10, 13, 15, 19

g) テノール・トロンボーン

以下の曲を演奏する。暗譜で演奏するか否かは自由とする。繰り返しは省略する。

C. Kopprasch : 60 Etudes for Trombone No. 10, 27 (版は指定しない)

h) バス・トロンボーン

以下の曲を演奏する。暗譜で演奏するか否かは自由とする。

O. Blume : 36 Studies for Trombone with F Attachment No. 7, 19 (Carl Fischer社版)

i) ユーフォonium

以下の曲を演奏する。暗譜で演奏するか否かは自由とする。繰り返しは省略する。

C. Kopprasch : 60 Etudes for Trombone No. 15, 33 (版は指定しない)

一般選抜 入学試験科目・課題

対面入試

j) テューバ

以下の曲を演奏する。暗譜で演奏するか否かは自由とする。

C. Kopprasch : 60 Selected Etude for Tuba (Robert King社版) No. 14

k) ホルン

以下の曲から任意の1曲を演奏する。暗譜で演奏するか否かは自由とする。(版指定なし)

W. A. Mozart : Horn Concerto No. 3から 第1楽章 (カデンツァなし)

W. A. Mozart : Horn Concerto No. 2から 第1楽章

打楽器 (本学の楽器を使用)

※ 伴奏不要

以下の(1)(2)(3)を演奏する。暗譜で演奏するか否かは自由とする。

a) パーカッション

(1) 小太鼓による1つ打ち、2つ打ち (Snare offで演奏)

クレッシェンド・ディミニユエンドロール打ち (< >) (Snare onで演奏)

(2) 小太鼓課題2曲。(Snare onで演奏)

M. Goldenberg: Modern School for Snare Drum (A. J. Cirone 社版) から

①Roll Exercise in 2/4 (P. 44)、②Etude in 6/8 (P. 48, 49)

(3) マリンバによる課題 —P. 32参照

Es-dur、c-moll スケール

短調は和声的音階・旋律的音階の両方とする。

b) マリンバ

(1) 小太鼓による1つ打ち、2つ打ち (Snare offで演奏)

(2) マリンバによる課題 —P. 32参照

スケール E-dur, cis-moll、B♭-dur, g-moll

短調は和声的音階・旋律的音階の両方とする。

(3) マリンバ自由曲 6分以内 (カット演奏も可)

ハープ

※ 伴奏不要

以下の(1)(2)(3)を暗譜で演奏する。

(1) 変ホ長調のスケール・アルペジオ・和音

(2) N. Ch. Bochsa : 50のエチュード第1巻から1曲

(3) 自由曲 1曲

古楽器

以下の(1)(2)を演奏する。暗譜で演奏するか否かは自由とする。

演奏後、専攻に関する面接を行う。

a) リコーダー

(1) 課題曲

Benedetto Marcello : リコーダーと通奏低音のための12のソナタ集 (op. 2) から任意の1曲

(2) 初見演奏

5分間の予見時間を与える。試奏はできない。

b) フラウト・トラヴェルソ

(1) 課題曲

G. F. Händel : Sonata h-moll (Hallenser Sonata No. 3, HWV376) 全楽章
繰返しは任意。
[推薦楽譜] Bärenreiter社版 (1995年, T. Best の新版)

(2) 初見演奏

5分間の予見時間を与える。試奏はできない。

c) バロック・オーボエ

(1) 課題曲

G. F. Händel : Sonata B-dur HWV357 全楽章

(2) 初見演奏

5分間の予見時間を与える。試奏はできない。

d) ヴィオラ・ダ・ガンバ

(1) 課題曲

Marin Marais : ヴィオール曲集第2巻(1701年)から任意の組曲
(10分程度にまとめること)

(2) 初見演奏

5分間の予見時間を与える。試奏はできない。

e) バロック・ヴァイオリン

(1) 課題曲

① 17世紀イタリアのソナタから任意の1曲

(Marini, Castello, Fontana, Uccelliniなどから)

② Arcangelo Corelli : ヴァイオリンと通奏低音のためのソナタ 作品5から任意の1曲
(ただし、No.12「ラ・フォルリア」を除く)

③ J. S. Bach : ヴァイオリンと通奏低音のためのソナタ G-dur BWV1021
上記の課題の②、③については、試験当日に演奏する楽章を指定する。

(2) 初見演奏

5分間の予見時間を与える。試奏はできない。

f) バロック・チェロ

(1) 課題曲

① Francesco Geminiani : Sonate 2 (D minor) 1st mov. Andante, 2nd mov. Presto

② J. S. Bach : チェロ組曲から 任意の1曲 (全楽章)

(2) 初見演奏

5分間の予見時間を与える。試奏はできない。

注1) リコーダー、フラウト・トラヴェルソ、バロック・オーボエ、ヴィオラ・ダ・ガンバの志願者は当日 a \approx 415 の専攻楽器を使用すること。

バロック・ヴァイオリンおよびバロック・チェロの受験にあたっては、モダン楽器での受験も可とする。ただし、ピッチは a \approx 415とし、ガット弦およびバロック弓を使用すること。

注2) 伴奏は本学で用意する。

g) チェンバロ

(1) 課題曲 —— 次の作品をすべて演奏する。ただし、演奏順序は自由。

- ① J. S. Bach : 平均律クラヴィーア曲集 第 I 巻
前奏曲とフーガ 第 6 番 d-moll
[指定楽譜] Bärenreiter社版 および Henle社版
- ② D. Scarlatti : Sonata f-moll K. 365
[指定楽譜] スカルラッティ 100のソナタ 第 2 集
全音楽譜出版社版 および Heugel社版
- ③ F. Couperin : クラヴサン曲集 第 2 巻 第 7 オルドルから La Ménéteau
[指定楽譜] Bärenreiter社版
- ④ W. Byrd : Rowland
[指定楽譜] Stainer & Bell 社版 Musica Britannica 第27巻

(2) 初見演奏

バロック時代の簡易な舞曲あるいはそれに準ずる小品。
5分間の予見時間を与える。試奏はできない。

◎当日は後期フレミッシュ・モデル 2 段鍵盤チェンバロ (音域 FF-g⁷、ピッチ a⁴=415、レジスタ 8'8"4L) を使用する。

◎課題曲および推薦楽譜、使用楽器について不明な点がある場合は、事務局入試係に問い合わせること。

声 楽

暗譜で演奏する。

イタリア古典歌曲 (注) 2 曲以上を含む 5 曲を提出し、そのうち任意の 1 曲と、抽選による 1 曲の合計 2 曲を演奏する。出願の際、受験曲目票に原語で作曲者名と曲名を記入する。オペラ・アリア以外は調性も明記する。

◎出願書類とともに受験曲 5 曲の伴奏譜を必ず提出する。「任意の 1 曲」には、伴奏譜提出票にもその旨を記入すること。(P. 11 参照)

(注) 以下の楽譜に記載の曲から選ぶこと。移調は自由。

Ricordi (リコルディ社) Arie Antiche vol. 1・2・3
全音楽譜出版社「イタリア歌曲集」1 (新版を含む)・2
教育芸術社「イタリア古典声楽曲集」1・2

作曲

a) 創作芸術

(1) 和声

バス、ソプラノ各1題（ピアノ使用不可 3時間）

(2) 器楽曲作曲

与えられたモチーフの中から選択し、任意の器楽曲を作曲する。
（ピアノ使用可 6時間）

(3) 専攻に関する面接

(4) 作曲理論ピアノまたは楽器等演奏

下記ア)、イ) いずれかで受験する。

ア) 作曲理論ピアノ

- ① J. S. Bach : 2声のインヴェンション、または
3声のシンフォニアから任意の1曲、または
平均律クラヴィーア曲集第I・II巻から任意の1曲（プレリュードとフーガ）

- ② 自由曲1曲：上記の①と合わせて15分以内の楽曲とする。

注 ①②ともに暗譜で演奏すること。ただし②について、現代作品で、楽譜を見ながら弾くことが指定されている作品（例：不確定性の音楽）は、楽譜を見ることを可とする。

- ③ 新曲初見演奏1曲（予見時間5分）

イ) 作曲理論ピアノによらない楽器等演奏

（弦楽器・声楽は暗譜。これ以外の実技は、暗譜で演奏するか否かは自由とする）

- ① ピアノ以外の楽器（本学が専攻として設置している楽器に限る）または声楽による演奏
（自由曲1曲 8分程度）

- ② 副科ピアノ（P.14参照）

（①においてチェンバロを選択した者は除く。暗譜で演奏する）

- ③ 新曲初見演奏1曲（予見時間5分）・・・受験楽器または声楽による。

（注）作曲専攻 a) 創作芸術 (4) イ) に該当する志願者の①の実技試験は、P.13の実技試験日程の中で大学が指定する時間に受験すること。なお、伴奏合わせの時間は別途指定する。

b) 編作芸術

(1) 作曲（以下のいずれかを選択して実施する）

a) 近親転調を含むバス和声課題（ピアノ使用不可 2時間）

b) 旋律課題の自由な伴奏付け（ピアノ使用可 2時間）

(2) 小品作曲

与えられた主題（調性あり）による24小節以上の小品を作曲する。楽器編成は自由とする。
（ピアノ使用可 3時間）

(3) 専攻に関する面接

(4) 楽器等演奏（含む声楽）

自由曲1曲：10分以内の楽曲とする。（暗譜で演奏すること）

指揮

(1) 実技（暗譜で演奏するか否かは自由とする）

Mozart : 「魔笛」序曲

Beethoven : Symphony No. 2 第1楽章

注：以上2曲とも、本学で用意した2台ピアノの伴奏による。

(2) 専攻に関する面接

(3) 和声

ソプラノ課題 1題（ピアノ使用不可：3時間）

(4) 作曲理論ピアノ

ア) 作曲理論ピアノ ※上掲参照 作曲専攻-a) 創作芸術 (4) ア) と同じ。

音楽学

(1) 専攻作文 (1時間30分)

(2) 専攻外国語 (1時間30分)

(英語、ドイツ語、フランス語の中から1カ国語を選択する。辞書(電子辞書含む)の持ち込みを可とする。)

(3) 面接

※作曲専攻、指揮専攻、音楽学専攻のいずれかを第2志望(他専攻を第1志望)としている場合の受験科目は第1志望による試験科目に加えて次のとおり。

作曲専攻 (1)～(4)を併せて受験する。

指揮専攻 (1)～(4)を併せて受験する。

音楽学専攻 (1)～(3)を併せて受験する。

<試験科目>

I. 一般学科

- (1) 小論文 過去問題

<https://www.tohomusic.ac.jp/college/admissions/boshuyoko/files/onlineexamessay.pdf>



課題を2月4日（金）に志願者に付与される桐朋メールアドレスへ送信する。
提出は2月7日（月）23時59分までに桐朋メールアドレスから事務局入試係へ送信すること。

- (2) Zoomによる口頭試問

II. 専門科目

- (1) Zoom等を使い、本学キャンパス以外で受験。

2022年2月21日（月）の指定日時（2月19日（土）15時に本学ホームページにて発表する。）

- ・楽典 : Zoomによる口頭試問
- ・新曲視唱 : Zoomによる初見課題の視唱試験
(原則として固定ド唱法を用いるが、移動ド唱法を用いてもよい。)
- ・聴音 : 課題配信による試験 聴音課題の書取り (パソコンを用いて受験する。)

- (2) 副科ピアノ (ピアノ、チェンバロ専攻志願者を除く。)

課題は枠外下記参照。(作曲専攻志願者は P. 25も参照のこと。)

予め、課題を録画し、提出する。「課題を録画する際の注意点」P. 33を参照。

III. 専攻実技

- (1) 各専攻実技試験課題のページを参照。

予め、専攻実技試験課題を録画し、提出する。「課題を録画する際の注意点」をP. 33参照。
(作曲、音楽学については、作品、所定の課題等を提出する。)

- (2) 専攻に関する面接 (古楽器、作曲、音楽学専攻) Zoom等を使い、本学キャンパス以外で受験。

2022年2月12日（土）の指定日時（2月9日（水）15時に本学ホームページにて発表する。)

<副科ピアノ> 副科ピアノの課題は、一般選抜 (対面入試) に同じ (P. 14参照)。

暗譜で演奏する

<専攻実技試験課題>

ピ ア ノ

課題1 Beethoven : 任意のSonate 1曲 (全楽章) 繰り返しは省略するが、D.C. はすること。
ただし、次の6曲は除く。

op. 14-1, op. 14-2, op. 49-1, op. 49-2, op. 79, op. 106

課題2 下記a) b) を演奏する。 —演奏する順序は自由—

a) Bach : Das Wohltemperierte Klavier I 巻またはII 巻から任意の1曲

b) Chopin : Etudes op. 10, op. 25から任意の2曲 (ただし、op. 10-6, op. 25-7は除く)

※録画は、課題1と課題2に分けて別々のファイルとすること。

※暗譜で演奏すること。

弦 楽 器

弦楽器専攻実技試験の録画に当たっては、無伴奏を可とする。伴奏を必要とする場合は各自で手配すること。 「課題を録画する際の注意点」 P. 33を参照。

以下の（１）と（２）を暗譜で演奏する。（コントラバスの課題は別）

a) ヴァイオリン

（１）Paganini : カプリスから任意の１曲（No. 24以外は繰り返しなし）

（２）以下のコンチェルトから任意の１曲で、第１楽章または終楽章

- | | | | |
|-----|-------------|---|----------------------------------|
| 1. | Bartók | : | 第２番 |
| 2. | Brahms | : | D-dur |
| 3. | Bruch | : | 第１番 g-moll |
| 4. | Dvořák | : | a-moll |
| 5. | Elgar | : | h-moll |
| 6. | Ernst | : | fis-moll op. 23 (独奏部分から第237小節まで) |
| 7. | Glazunov | : | a-moll (第１部：アレグロの前まで、第２部：アレグロから) |
| 8. | Lalo | : | スペイン交響曲 |
| 9. | Mendelssohn | : | e-moll |
| 10. | Paganini | : | 第１番 D-dur |
| 11. | Prokofiev | : | 第１番 D-dur |
| 12. | Prokofiev | : | 第２番 g-moll |
| 13. | Saint-Saëns | : | 第３番 h-moll |
| 14. | Sibelius | : | d-moll |
| 15. | Tchaikovsky | : | D-dur |
| 16. | Vieuxtemps | : | 第５番 a-moll (アダージョの前まで) |
| 17. | Wieniawski | : | 第１番 fis-moll |
| 18. | Wieniawski | : | 第２番 d-moll |

b) ヴィオラ 課題は、一般選抜（対面入試）に同じ (P. 15参照)

c) チェロ 課題は、一般選抜（対面入試）に同じ (P. 15参照)

d) コントラバス 課題は、一般選抜（対面入試）に同じ (P. 16参照)

管 楽 器

※ 伴奏不要

管楽器の課題は、すべて一般選抜（対面入試）に同じ (P. 16参照)

打 楽 器

※ 伴奏不要

打楽器の課題は、すべて一般選抜（対面入試）に同じ (P. 17参照)

ハ ー プ

※ 伴奏不要

ハープの課題は、一般選抜（対面入試）に同じ (P. 17参照)

古 楽 器

- (1) 以下の課題曲を演奏する。暗譜で演奏するか否かは自由とする。
専攻実技試験の録画に当たっては、伴奏なしで録画を行うこと。
- (2) 専攻に関する面接 Zoomを使い本学キャンパス以外で受験。

a) リコーダー

(1) 課題曲

G. Ph. Telemann : 12の無伴奏ファンタジーから任意の1曲

b) フラウト・トラヴェルソ

(1) 課題曲

G. F. Händel : Sonata h-moll (Hallenser Sonata No. 3, HWV376) 全楽章 繰り返しは任意。
[推薦楽譜] Bärenreiter社版 (1995年, T. Best の新版)

c) バロック・オーボエ

(1) 課題曲

G. F. Händel : Sonata B-dur HWV357 全楽章

d) ヴィオラ・ダ・ガンバ

(1) 課題曲

Marin Marais : ヴィオール曲集第2巻 (1701年) から任意の組曲 (10分程度にまとめること)

e) バロック・ヴァイオリン

(1) 課題曲

- ① 17世紀イタリアのソナタから任意の1曲
(Marini, Castello, Fontana, Uccelliniなどから)
- ② Arcangelo Corelli : ヴァイオリンと通奏低音のためのソナタ 作品5から任意の1曲
(ただし、No. 12「ラ・フォルリア」を除く)
- ③ J. S. Bach : ヴァイオリンと通奏低音のためのソナタ G-dur BWV1021

f) バロック・チェロ

(1) 課題曲

- ① Francesco Geminiani : Sonate 2 (D minor) 1st mov. Andante, 2nd mov. Presto
- ② J. S. Bach : チェロ組曲から 任意の1曲 (全楽章)

注) リコーダー、フラウト・トラヴェルソ、バロック・オーボエ、ヴィオラ・ダ・ガンバの志願者は、 $a \approx 415$ の専攻楽器を使用すること。
バロック・ヴァイオリンおよびバロック・チェロの受験にあたっては、モダン楽器での受験も可とする。ただし、ピッチは $a \approx 415$ とし、ガット弦およびバロック弓を使用すること。

g) チェンバロ

(1) 課題曲 —— 次の作品をすべて演奏する。ただし、演奏順序は自由。

- ① J. S. Bach : 平均律クラヴィーア曲集 第I巻
前奏曲とフーガ 第6番 d-moll
[指定楽譜] Bärenreiter社版 および Henle社版
- ② D. Scarlatti : Sonata f-moll K.365
[指定楽譜] スカルラッティ 100のソナタ 第2集
全音楽譜出版社版 および Heugel社版
- ③ F. Couperin : クラヴサン曲集 第2巻 第7オールドルから La Ménéjou
[指定楽譜] Bärenreiter社版
- ④ W. Byrd : Rowland
[指定楽譜] Stainer & Bell 社版 Musica Britannica 第27巻

◎チェンバロを用意出来ない場合は、ピアノ（電子楽器は除く）での録画を認める。

◎課題曲および指定楽譜、使用楽器について不明な点がある場合は、事務局入試係へ問い合わせること。

声 楽

専攻実技試験の録画に当たって、伴奏者は各自で手配すること。

暗譜で演奏する

イタリア古典歌曲（注）2曲以上を含む5曲を提出すること。そのうち任意の1曲と、本学教員により抽選した1曲の合計2曲を選考対象とする。出願の際、受験曲目票に原語で作曲者名と曲名を記入する。オペラ・アリア以外は調性も明記する。

（注）以下の楽譜に記載の曲から選ぶこと。移調は自由。

- Ricordi（リコルディ社）Arie Antiche vol.1・2・3
- 全音楽譜出版社「イタリア歌曲集」1（新版を含む）・2
- 教育芸術社「イタリア古典声楽曲集」1・2

作 曲

a) 創作芸術

(1) 任意の編成の作曲作品（2作品以内の楽譜） 出願時に提出する。

(2) 専攻に関する面接 Zoomを使い本学キャンパス以外で受験。

(3) 作曲理論ピアノまたは楽器等演奏

予め、録画し提出する。「課題を録画する際の注意点」をP.33参照。

録画に当たっては、無伴奏を可とする。伴奏を必要とする場合は各自で手配すること。

下記ア)、イ) いずれかで受験する。

ア) 作曲理論ピアノ

- ① J. S. Bach : 2声のインヴェンション、または
3声のシンフォニアから任意の1曲、または
平均律クラヴィーア曲集第I・II巻から任意の1曲（プレリュードとフーガ）
- ② 自由曲1曲：上記の①と合わせて15分以内の楽曲とする。

注 ①②ともに暗譜で演奏すること。ただし②について、現代作品で、楽譜を見ながら弾くことが指定されている作品（例：不確定性の音楽）は、楽譜を見ることを可とする。

イ) 作曲理論ピアノによらない楽器等演奏

（弦楽器・声楽は暗譜。これ以外の実技は、暗譜で演奏するか否かは自由とする）

- ① ピアノ以外の楽器（本学が専攻として設置している楽器に限る）または声楽による演奏
（自由曲1曲 8分程度）
- ② 副科ピアノ（P.22参照）
（①においてチェンバロを選択した者は除く。暗譜で演奏する）

b) 編作芸術

- (1) 任意の編成の作曲作品または編曲作品（2作品以内の楽譜） 出願時に提出する。
- (2) 専攻に関する面接 Zoomを使い本学キャンパス以外で受験。
- (3) 楽器等演奏（含む声楽）
予め課題を録画し提出する。「課題を録画する際の注意点」をP. 33参照。
録画に当たっては、無伴奏を可とする。伴奏を必要とする場合は各自で手配すること。
自由曲1曲：10分以内の楽曲とする。（暗譜で演奏すること）

指 揮

オンライン入試は、実施しない。

音 楽 学

- (1) 専攻作文 課題を2月7日（月）までに、大学からレターパックで送付する。
提出は2月9日（水）までに、レターパックで発送すること。
- (2) 専攻外国語 （英語、ドイツ語、フランス語の中から1カ国語を選択する。）
課題を2月7日（月）までに、大学からレターパックで送付する。
提出は2月9日（水）までに、レターパックで発送すること。
- (3) 面接 Zoomを使い本学キャンパス以外で受験。

<試験科目>

- I. 一般学科 「一般選抜(対面入試)」(1年次入学)入試課題に共通 P.14記載
- II. 専門科目 「一般選抜(対面入試)」(1年次入学)入試課題に共通 P.14記載
1. 楽典
 2. 聴音・新曲視唱
 3. 副科ピアノ (ピアノ、チェンバロ、指揮専攻志願者を除く。
課題はP.14を参照。(作曲専攻志願者は P.20も参照のこと。)
- III. 専攻実技

<専攻実技試験課題>

ピ ア ノ

課題1 自由曲 10分程度 <一部省略も可>

課題2 下記 a) b) を演奏する。 —演奏する順序は自由—

a) Bach : Das Wohltemperierte Klavier I 巻またはII巻から任意の1曲

b) Chopin : Etudes op.10、op.25から任意の2曲

(ただし、op.10-6、op.25-7は除く)

※当日、演奏を途中でカットすることもある。

※試験は、課題1と課題2に分けて行う。

※暗譜で演奏すること。

弦 楽 器

一般選抜(対面入試)に同じ (P.15参照)

管 楽 器

一般選抜(対面入試)に同じ (P.16参照)

打 楽 器

一般選抜(対面入試)に同じ (P.17参照)

ハ ー プ

一般選抜(対面入試)に同じ (P.17参照)

古 楽 器

以下の演奏および演奏後、専攻の面接を行う。

注1) リコーダー、フラウト・トラヴェルソ、バロック・オーボエ、ヴィオラ・ダ・ガンバの志願者は当日 a \equiv 415 の専攻楽器を使用すること。

バロック・ヴァイオリンおよびバロック・チェロの受験にあたっては、モダン楽器での受験も可とする。ただし、ピッチは a \equiv 415 とし、ガット弦およびバロック弓を使用すること。

注2) 伴奏は本学で用意する。

a) リコーダー

以下の(1)と(2)を演奏する。暗譜で演奏するか否かは自由とする。

(1) 課題曲

Francesco Barsanti : リコーダーと通奏低音のための6つのソナタから 第2番 ハ長調

(2) 初見演奏

5分間の予見時間を与える。試奏はできない。

b) フラウト・トラヴェルソ

以下の(1)と(2)を演奏する。暗譜で演奏するか否かは自由とする。

(1) 課題曲

J.-M. Leclair : Sonate e-moll op. 2-1 (c.1723) 全楽章 繰り返しは任意。

(2) 初見演奏

5分間の予見時間を与える。試奏はできない。

c) バロック・オーボエ

以下の(1)と(2)を演奏する。暗譜で演奏するか否かは自由とする。

(1) 課題曲

① G.F.Händel : Sonata B-dur HWV357 全楽章

② J.-M. Hotteterre : 組曲第3番 (Deuxième Livre de pieces pour la Flûte Traversière Paris 1715) (D-durをC-durに移調して演奏すること)

(2) 初見演奏

5分間の予見時間を与える。試奏はできない。

d) ヴィオラ・ダ・ガンバ (P.18参照)

一般選抜(対面入試)に同じ

e) バロック・ヴァイオリン (P.18参照)

一般選抜(対面入試)に同じ

f) バロック・チェロ (P.18参照)

一般選抜(対面入試)に同じ

g) チェンバロ

(1) 課題曲 —— 次の作品をすべて演奏する。ただし、演奏順序は自由。

① L. Couperin : クラヴサン曲集から
[Heugel版] Suite XⅢから
(76) Prélude - (77) Allemande - (78) Courante
- (80) Sarabande - (82) Gigue

② J. J. Froberger : Toccata Ⅲ (FbWV 103)

③ Sweelinck : 変奏曲「Est-ce Mars」

(2) 初見演奏

バロック時代の簡易な舞曲あるいはそれに準ずる小品。

5分間の予見時間を与える。試奏はできない。

(3) 通奏低音—演奏試験

他の楽器との簡易なアンサンブル課題

演奏試験課題曲は2月5日(土)までに本人あてに桐朋メールアドレスへ送信する。2月5日までに届かない場合は、事務局入試係に問い合わせること。

◎ 当日は後期フレミッシュ・モデル2段鍵盤チェンバロ(音域 FF-g⁷、ピッチ a⁴=415、レジスタ 8'8"4'L)を使用する。

声 楽

暗譜で演奏する

任意のオペラ・アリア(オラトリオ、コンサート・アリアを含まない)1曲と自由曲4曲、計5曲提出。そのうち任意の1曲と抽選による1曲の合計2曲を演奏する。

出願の際、受験曲目票に原語で作曲者名と曲名を記入し、オペラ・アリア以外は調性も明記する。

出願書類とともに受験曲5曲の伴奏譜を必ず提出する。(P.11参照)

作 曲

一般選抜(対面入試)に同じ (P.20参照)

指 揮

一般選抜(対面入試)に同じ (P.20参照)

音 楽 学

一般選抜(対面入試)に同じ (P.21参照)

<試験科目>

I. 一般学科 「一般選抜(オンライン入試)」(1年次入学)入試課題に共通 (P. 22記載)

II. 専門科目 「一般選抜(オンライン入試)」(1年次入学)入試課題に共通 (P. 22記載)

III. 専攻実技

(1) 課題は各専攻実技試験のページを参照。

予め、専攻実技試験課題を録画し、提出する。課題を録画する際の注意点 (P. 33参照)
(作曲、音楽学については、作品、所定の課題等を提出する。)

(2) 専攻に関する面接(古楽器、作曲、音楽学専攻) Zoom等を使い、本学キャンパス以外で受験。
2022年2月12日(土)の指定日時 (2月9日(水)15時に本学ホームページにて発表する。)

<専攻実技試験課題>

ピアノ

課題1 自由曲 10分程度 <一部省略も可>

課題2 下記a) b)を演奏する。 —演奏する順序は自由—

a) Bach : Das Wohltemperierte Klavier I巻またはII巻から任意の1曲

b) Chopin : Etudes op. 10、op. 25から任意の2曲

(ただし、op. 10-6、op. 25-7は除く)

※録画は、課題1と課題2に分けて別々のファイルとすること。

※暗譜で演奏すること。

弦楽器

一般選抜(オンライン入試)に同じ (P. 23参照)

管楽器

一般選抜(オンライン入試)に同じ (P. 16参照)

打楽器

一般選抜(オンライン入試)に同じ (P. 17参照)

ハープ

一般選抜(オンライン入試)に同じ (P. 17参照)

古 楽 器

- (1) 以下の課題曲を演奏する。暗譜で演奏するか否かは自由とする。
専攻実技試験の録画に当たっては、伴奏なしで録画を行うこと。
- (2) 専攻に関する面接 Zoomを使い本学キャンパス以外で受験。

注) リコーダー、フラウト・トラヴェルソ、バロック・オーボエ、ヴィオラ・ダ・ガンバの志願者は、 $a \approx 415$ の専攻楽器を使用すること。
 バロック・ヴァイオリンおよびバロック・チェロの受験にあたっては、モダン楽器での受験も可とする。ただし、ピッチは $a \approx 415$ とし、ガット弦およびバロック弓を使用すること。

a) リコーダー

(1) 課題曲

G. Ph. Telemann : 12の無伴奏ファンタジーから任意の1曲

b) フラウト・トラヴェルソ

(1) 課題曲

J. -M. Leclair : Sonate e-moll op. 2-1 (c. 1723) 全楽章 繰り返しは任意。

c) バロック・オーボエ

(1) 課題曲

- ① G. F. Händel : Sonata B-dur HWV357 全楽章
 ② J-M. Hotteterre : 組曲第3番 (Deuxième Livre de pieces pour la Flûte Traversière Paris 1715) (D-durをC-durに移調して演奏すること)

d) ヴィオラ・ダ・ガンバ

一般選抜(オンライン入試)に同じ

e) バロック・ヴァイオリン

一般選抜(オンライン入試)に同じ

f) バロック・チェロ

一般選抜(オンライン入試)に同じ

g) チェンバロ

(1) 課題曲 —— 次の作品をすべて演奏する。ただし、演奏順序は自由。

- ① L. Couperin : クラヴサン曲集から
 [Heugel版] Suite X IIIから
 (76) Prélude - (77) Allemande - (78) Courante
 - (80) Sarabande - (82) Gigue
- ② J. J. Froberger : Toccata III (FbWV 103)
 ③ Sweelinck : 変奏曲「Est-ce Mars」

(2) 専攻に関する面接 Zoomを使い本学キャンパス以外で受験。

(3) 通奏低音—演奏試験

演奏試験課題曲を通奏低音だけで演奏する。2月10日(木)までに専攻の課題曲と同様の方法で録画し提出。演奏試験課題曲は2月5日(土)までに本人あてに桐朋メールアドレスへ送信する。2月5日までに届かない場合は、事務局入試係に問い合わせること。

※チェンバロを用意出来ない場合は、ピアノ(電子楽器は除く)での録画を認める。

※課題曲および指定楽譜、使用楽器について不明な点がある場合は事務局入試係に問い合わせること。

声 楽

専攻実技試験の録画に当たって、伴奏者は各自で手配すること。

暗譜で演奏する

任意のオペラ・アリア（オラトリオ、コンサート・アリアを含まない）1曲と自由曲4曲、計5曲提出。そのうち任意の1曲と、本学教員により抽選した1曲の合計2曲を選考対象とする。

出願の際、受験曲目票に原語で作曲者名と曲名を記入し、オペラ・アリア以外は調性も明記する。出願書類とともに受験曲5曲の伴奏譜を必ず提出する。

作 曲

一般選抜（オンライン入試）に同じ (P. 25参照)

指 揮

編入学・オンライン入試は、実施しない。

音 楽 学

一般選抜（オンライン入試）に同じ (P. 25参照)

打楽器専攻実技試験課題

a) パーカッション - (3) マリンバによる課題

3オクターブのスケールとアルペジオ。
短調は和声的音階・旋律的音階の両方とする。

b) マリンバ - (2) マリンバによる課題

3オクターブのスケールとアルペジオ。
短調は和声的音階・旋律的音階の両方とする。

The score is for mallet percussion in common time (C) with a tempo of 126. It consists of two systems of staves. The first system shows a 3-octave scale starting on middle C, with alternating right (R) and left (L) mallets. The second system shows a 3-octave arpeggio exercise, also with alternating mallets. The piece concludes with a final chord in the right hand.

和声的短音階

A short musical exercise in the key of D minor, showing a harmonic minor scale. The right hand plays the ascending scale, and the left hand plays the descending scale. The piece ends with a fermata.

旋律的短音階

A short musical exercise in the key of D minor, showing a melodic minor scale. The right hand plays the ascending scale, and the left hand plays the descending scale. The piece ends with a fermata.

オンライン入試 受験上の注意

【演奏動画を提出する場合】

事前準備

オンライン入試は、本学より付与されるメールアドレスを使用して実施する。

＜付与されるメールアドレス（桐朋メールアドレス）について＞

志願者一人一人に個別のアドレスを付与する。動画のアップロードは上記のメールアドレスを使用して行う。詳しくは出願後に通知する。

動画の提出について

1. 方法：詳細は出願締切後に通知する。
2. 期限：2022年1月28日（金） 0時00分～2月3日（木）23時59分

演奏動画の作成（撮影）方法

1. 動画撮影にあたり、使用する撮影機材等の指定はない。スマートフォンや、一般的なビデオカメラ等で撮影した動画でよい。
2. 動画のファイル形式（拡張子）は、以下のいずれかで提出すること。

ファイル形式（拡張子）：avi , mov , mp4 , wmv , flv

※上記以外の拡張子に関しては、事前に下記連絡先（事務局入試係）まで相談すること。

【例】iPhoneで撮影した場合：「.mov」のファイル形式

Androidで撮影した場合：「.mp4」のファイル形式

※一部の機種では、上記のファイル形式で保存されない場合があるため、提出する前に必ず確認すること。

問い合わせ先：事務局入試係

メール：exam@tohomusic.ac.jp

電話：03-3307-4122（直通）

課題を録画する際の注意点

1. カメラの角度が固定されていて未編集のものとする。座って演奏する場合は、顔と手が明確に映っているもの、立って演奏する楽器ならびに声楽の演奏は、腰から上が映っているものとする。
2. 複数の曲がある場合は、カメラを止めずに続けて演奏収録すること。
ただし、ピアノ専攻の課題1と課題2については、別々のファイルで録画する。課題1、課題2の順にアップロードする。声楽専攻については、任意曲1曲、課題曲2曲、課題曲2曲と3つのファイルで録画し、その順にアップロードする。管楽器専攻については自由とするが、受験曲目票に記入した順にアップロードする。
3. ファイル名には必ず「受付番号_専攻_氏名_課題番号等」を記入すること。
4. この入試のために録画を行ったものであること。
5. 再編集・加工をしたものは審査対象としない。

【一般学科・専門科目の口頭試問、専門科目の聴音、専攻実技の面接を受験する場合】

事前準備

オンライン入試の面接は、本学より付与されるメールアドレス及びZoomを使用して実施する。

＜Zoomとは＞

Zoom Video Communications, Inc. が提供する無料のビデオ会議ツール

※パソコンを使用する場合、必ずWebカメラ・マイク・スピーカー（ヘッドフォン・ヘッドセットでも可）が内蔵または付属されている機種を使用すること。

※パソコン・スマートフォン・タブレットのOSやブラウザは最新のバージョンを利用すること。

※スマートフォンまたはタブレットを利用する場合は、事前にアプリのインストールすること。

聴音試験は課題配信によるため、必ずパソコンを用いて受験すること。

受験時にはWebカメラ・マイク・スピーカー（ヘッドフォン・ヘッドセットでも可）を利用すること。

オンライン入試志願者（一般学科・専門科目の口頭試問、専攻実技の面接）の接続テストについて

上記の志願者を対象として事前に接続テストを実施する。詳細は、出願後に通知する。

合格発表、入学手続、入学金・授業料等

- 発表日 一般選抜【対面】(編入学を含む) 2022年2月18日(金)16時予定
一般選抜【オンライン】(編入学を含む) 2022年2月23日(水)11時予定
※対面入試とオンライン入試を併願した志願者が対面入試で合格した場合は、
オンライン入試の合否判定は行わない。
- 発表方法 合格者の「受付番号」を次の方法で発表する。
① 学内掲示(仙川キャンパス・1階ロビー)
② 本学ホームページ
- 書類の交付 合格者には、入学手続書類(合格者心得)を同日に速達で送付する。
- 入学手続
手続締切日 「一般選抜の全ての入学試験」合格者〔3月5日(土)～11日(金)郵送必着〕
※ 締切日までに手続きを完了しない場合は、入学資格を失う。手続きを行わない場合は
事務局入試係まで連絡すること。
- 提出書類等 1) 「入学手続納付金払込用紙」の副票
2) 誓約書(本学が指定する用紙)
3) 身元保証書(本学が指定する用紙)
4) 学籍台帳(本学が指定する用紙一要・タテ7cm×ヨコ5cmの写真貼付)
5) 写真(タテ4cm×ヨコ3cm)1枚
6) 住民票または住民票記載事項証明書1通(マイナンバーは不要。入学する本人のみ記載のもの、本籍の記載も必要)
7) 保健調査票(予防接種歴確認書) 他

※ 入学手続に関する詳細は、『合格者心得』で通知する。

※ 手続きを完了した者には、「入学許可証」を交付する。

※ 入学手続完了後に入学を辞退する者には、指定した期日までに所定の手続きをとれば、入学金以外の納入金を返還する。

入学金・授業料等(2021年度実績)

1. 入 学 金	600,000円	(入学時のみ)
2. 運営維持費	300,000円	(年額)
3. 授 業 料	1,360,000円	(年額)
4. 施設設備費	340,000円	(年額)
5. 学生会費	6,600円	(年額)

(注) 1) 1.2.の合計と3.4.5.の半額(合計1,753,300円)が、入学手続時に納入する金額である。

2) 上記の他に以下のような受講料(年額)が発生する場合がある。

外国人講師等の特別レッスン 1万円程度(外国人講師による)

選択副科受講料 80,000円(副科声楽 55,000円)

室内楽・二重奏ソナタ受講料 45,000円

教職課程受講料 高等学校教諭一種免許状 60,000円

高等学校教諭一種免許状及び中学校教諭一種免許状 100,000円

3) 経済情勢の変動等に応じて2022年度以降の校納金については改定があり得る。

特待生制度および奨学金制度・学生会館

特待生制度

入学試験または所定の学内試験で、専攻実技の成績が極めて優秀であると認められた学生は、「特待生」として入学金・運営維持費・授業料などを全額または一部を免除する。

奨学金制度

成績優秀者または経済的な理由により就学が困難な大学生を対象とする各種の奨学金制度がある。

1. 本学独自の奨学金制度〔給付〕

◎桐朋学園音楽部門奨学金

向学心を持ちつつも、経済的理由で就学が困難な学生・生徒を対象とする。
1年ごとに選考を行い、授業料の1割から10割を年1回（9月末）給付する。
原則として、日本学生支援機構奨学金（第一種）の算出基準に準拠し、実状を考慮し決定する。

申請方法：入学前と入学後の申請がある。

①入学前の申請

入試要項添付の申請書に必要事項を記入、書類を添付のうえ入学試験志願票とともに提出する。給付の可否についての審査結果は、2022年2月23日頃に郵送する。
採用者には、入学後、奨学金運営委員会による面接が7月中旬に実施される。

②入学後の申請

在学生を対象とする募集要項は、4月末に掲示する。入学前に申請した者も、再度申請することができる。

◎桐朋学園音楽部門特別奨学金

成績の特に秀でた学生・生徒に対し給付される。

◎桐朋学園音楽部門芸術教育設備・拡充資金及び奨学金基金奨学生

当該年度の入学試験で、秀抜なる成績を得た学生に給付される。

◎桐朋学園音楽部門同窓会奨学金（大学2年在学生対象）

桐朋学園音楽部門同窓会から、向学心があり心身ともに健全で、経済的理由によって修学が困難な大学2年生を対象に給付される。

◎チェロアンサンブル・サイトウ奨学金（チェロ専攻生対象）

当該年度の入学試験で、秀抜なる評価を得たチェロ専攻の学部学生に給付される。

◎鍋島元子奨学金（古楽器専攻生対象）

本学出身のチェンバリスト、故・鍋島元子の名を冠した奨学金。
当該年度の入学試験において、優秀な成績を修めた者に給付される。

◎宗次徳二桐朋学園大学大学院 特待奨学金

特定非営利活動法人イエロー・エンジェルの寄附により設立。次世代の音楽界を担うことが期待される特に優秀な者で、経済的理由で就学が困難な大学院生が支給対象となる。法人からの依頼を受け、学校から推薦される。

対象者：修士課程 2名(最長 2年間) 博士後期課程 1名(最長 3年間)

給付額：年間120万円(入学から修了まで)

◎桐朋学園音楽部門 留学支援 江崎スカラシップ

次世代の音楽界を担うことが期待される大学・大学院・ディプロマコース・大学院大学のピアノ専攻生を対象に海外留学支援のための奨学金が給付される。

対象者：ピアノ専攻生 2名 給付金額：一人につき500万円(ただし、1回限り)

2. その他の奨学金 等

◎日本学生支援機構奨学金 (国の奨学金、採用人数枠が有り大学を通じて申請)

<https://www.jasso.go.jp>

◎各都道府県・地方公共団体奨学金

◎企業、交通遺児育英会等の奨学金

◎国の教育ローン (日本政策金融公庫が取り扱う公的な融資制度)

<https://www.jfc.go.jp/n/finance/search/ippan.html>

3. 高等教育の修学支援制度について (2020年 4月～)

桐朋学園大学は国による「高等教育の修学支援新制度」の対象校となっている。

「高等教育の修学支援新制度」の対象者は、本学在学にあたり以下の支援を受けることができる。

区分	国 〈授業料・入学金減免〉		日本学生支援機構 〈給付型奨学金〉	
	入学金 (減免額)	授業料 (減免額)	自宅生	自宅外生
第Ⅰ区分	260,000	700,000 (年額)	38,300 (月額)	75,800 (月額)
第Ⅱ区分	第Ⅰ区分の3分の2の額			
第Ⅲ区分	第Ⅰ区分の3分の1の額			

※単位は円。年度中に区分が変わった場合、減免額・給付額が変更となる。

※入学金の減免は、新入生のみ対象 (入学時のみ)。

※第Ⅰ区分～第Ⅲ区分は、世帯の所得金額に基づく区分となる。

参考：日本学生支援機構 給付型奨学金

<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/kyufu/index.html>

[高等教育の修学支援新制度の詳細について]

・文部科学省 高等教育の修学支援新制度

<https://www.mext.go.jp/kyufu/index.htm>

学生会館

自宅通学が困難な女子学生・生徒のために、調布キャンパスより徒歩約5分の場所に学生会館を用意している。

タイプ	防音ワンルーム型マンション
住戸面積	約21㎡（1住戸当り）
仕様	ミニキッチン・バス・トイレ・エアコン・インターネット接続等各室完備
住戸数	115戸
入居費	月額 78,000円
その他	入居時に諸経費として、50,000円が必要。光熱水費は自己負担。

2022年度の募集について

- (1) 募集人数は約20名。希望者多数の場合は抽選（高校生、ディプロマ・コース生を含む）。
- (2) 入居希望者は要項に添付されている所定用紙を入学試験志願票とともに提出すること。
- (3) 入居の可否通知は、合格発表日後1週間以内に合格者宛に発送する。

京王線沿線の主な宿泊施設

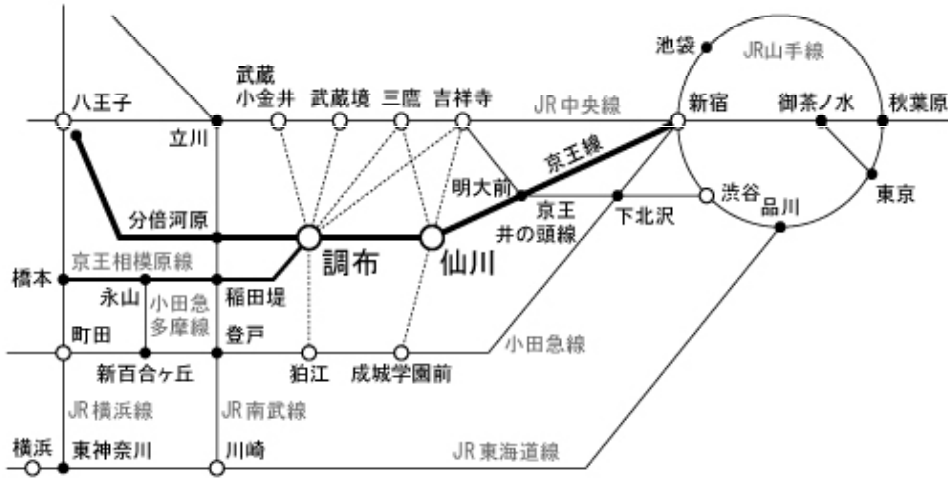
各自で直接、予約・問い合わせること。

新宿駅周辺	多数あり。
調布駅周辺	調布クレストンホテル、アーバンホテルツインズ調布
布田駅周辺	東横INN調布京王線布田駅
飛田給駅周辺	調布アーバンホテル、ホテル武蔵野の森
東府中駅周辺	マロウドイン東京
府中駅周辺	府中アーバンホテル、ホテル コンチネンタル、シティテル府中

交通機関案内図

■ 交通案内

< 調布駅－新宿駅より特急で約16分、仙川駅－新宿駅より快速で約18分 >

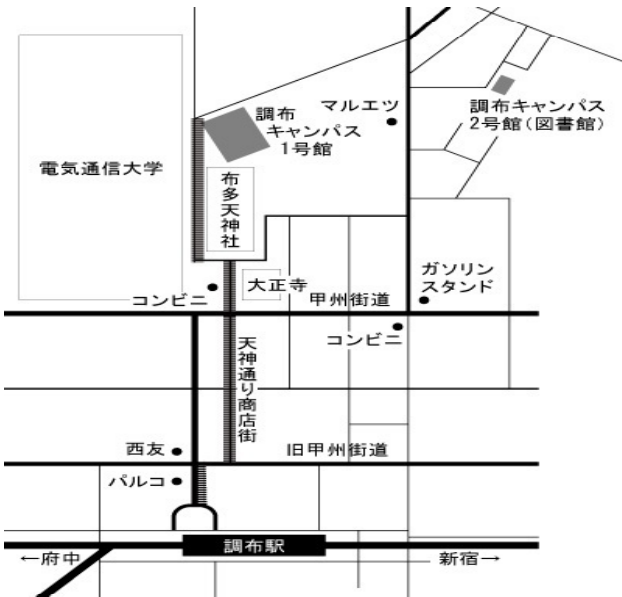


京王線以外からのルート

- < 調布キャンパス >
- 小田急線「狛江」駅発 (バスの所要時間約20分)
小田急バス 「調布駅南口」または「武蔵境駅南口」行き
「調布駅南口」または「調布駅北口」バス停下車 徒歩10～12分
 - JR中央線「吉祥寺」駅、「三鷹」駅、「武蔵境」駅、
「武蔵小金井」駅発 (バスの所要時間約30～40分)
小田急バス 「調布駅北口」行き (吉祥寺、三鷹、武蔵境)
京王バス 「調布駅北口」行き (武蔵小金井)
「調布駅北口」バス停下車 徒歩10分

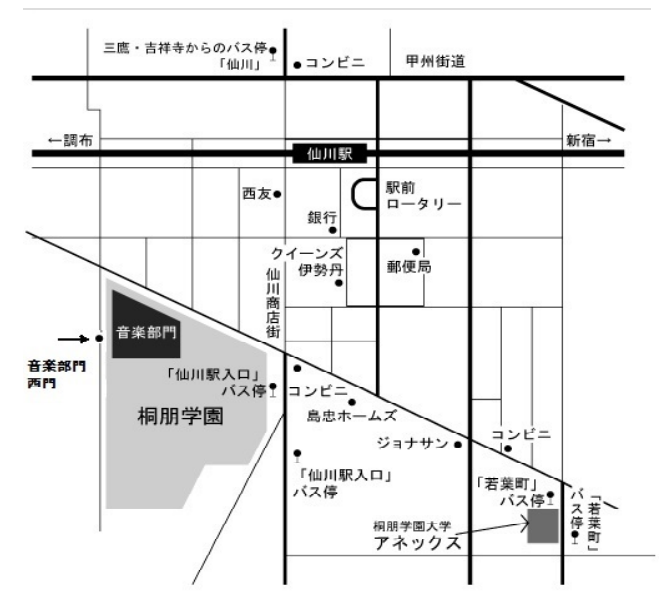
- < 仙川キャンパス >
- 小田急線「成城学園前」駅発 (バスの所要時間約15分)
小田急バス 「狛江営業所」または「調布駅南口」行き
「仙川駅入口」バス停下車 徒歩1分
 - JR中央線「吉祥寺」駅発 (バスの所要時間約25分)
小田急バス 「仙川」行き 「仙川」バス停下車 徒歩6分
 - JR中央線「三鷹」駅発 (バスの所要時間約30分)
小田急バス 「仙川」行き 「仙川」バス停下車 徒歩6分

◆ 調布キャンパスの駅からのアクセス



● 京王線「調布」駅より 徒歩10分

◆ 仙川キャンパスの駅からのアクセス



● 京王線「仙川」駅より 徒歩5分

<仙川キャンパス>

〒182-8510 東京都調布市若葉町1-41-1 ☎ 03 (3307) 4101 (代)

<調布キャンパス>

〒182-0021 東京都調布市調布ヶ丘1-10-1 ☎ 042 (444) 7055 (代)